

高齢者

三田市議会を **X** もっと身近に

こんなコトを
しています。

市議会

対談特集4回目は、三田市老人クラブ連合会の皆さんと意見交換。ニュータウンの開発が始まるずっと前から何十年も三田にお住まいの皆さんに、このまちの歴史や、現在、未来に向けた思いをうかがいました。

三田市の印象は？

「ニュータウンの開発が進んで何年も経ち、昔の三田イコール田舎というイメージはすいぶん変わりました」
「ニュータウンには若い人も多く世代毎の考え方の違いを感じます」
「最近不審者情報が多いのも気になります」
「12月のせいもん払いがなくなり寂しくなりましたね」



昭和33年の市制施行時に3万人余りだった人口も、昨年度は過去最高の11万5千人を突破。急速な都市化により、市民の皆さんの生活環境も変化し、世代も考え方も多様化しています。

道路、鉄道などの交通手段や、公共施設、ショッピングモールの整備などにより暮らしが便利になる一方で、不審者情報や交通事故の増加など新たな課題にも取り組む必要が生じてきました。市議会でも市民生活が安全で安心して暮らせる、より快適なものになるよう、市政に対し常に監視、提案を行っています。

また、大型ショッピングモールの進出などにより市民の生活スタイルが変化し、昔から市民の暮らしを支えてきた商店街の利用者が減少していることも課題だと考えています。昔のような「せいもん払い」の実施はむずかしいかもしれませんが、商店街の活気を少しでも取り戻し、周辺地域を元気にする方法を今後も模索・提案していきます。



「老後を過ごすならゼツタイ三田」の政策を

市政や議会ってどう？

「若い世代の多くが市外へ働きに出ている昨今、昼間に地震などの災害が発生した場合に高齢者や障がい者などの避難や援護がどのようにされるのが心配です」
「景気低迷で税収が落ち込む中、市財政を黒字化された努力は市政ががんばっているなと感じます」

災害時の要援護者をどのようにサポートするのは、緊急の課題と捉えています。地域内で安否確認の声かけをする仕組みづくりなどをすすめています。

市民生活に直結する市財政の健全化は、次代に先送りできないテーマであり市議会も継続して取り組んでまいります。

「政治が国民の信頼を失っている時代だと感じる一方で、大阪市長選のように市民が政治に強い関心を寄せているとも感じます。市議会でも議員定数の2名削減を決定されましたが、今後も市民が議会に関心を持てるような課題の発信をお願いします」



「本会議でも審議されていた『地域担当制』に期待しています。市議会でも専門的に地域に入り込んだ活動をしてほしい」

議会改革の一環として、議員定数を削減しました。議員自らが市議会のあり方を考え、最高の働きができるよう進化し続けることも大切な仕事だと考えています。



この「つなぐ」の取材のように、地域に出向いて皆さんの声を直接聞き、市政に届ける機会は今後さらに重要になってくると考えています。効率的な仕組みづくりを模索します。

「三田市は『子育てするならゼツタイ三田』をキーワードに若い世代の転入促進に力を入れておられますが、高齢者を元気にするため『老後を過ごすならゼツタイ三田』と言える政策もお願いします。具体的には地元の学校の空き教室を活用してはどうでしょう」

市財政の健全化のためにも、若い世代の流入を図り三田市を元気にする取り組みは必要です。一方で高齢化がすすむ将来を見据えた、高齢者を元気にする取り組みも急務といえます。具体的にはけがや病気を減らし医療費を削減する健康福祉の充実や、おっ



しゃるとおり空き教室の活用を含め、高齢者が豊富な経験を生かし生きがいを感じながら活動できる地域の場の設定などが必要だと考えます。

新しくなった「つなぐ」はどう？

「質問の答弁記事を読んでいると、同じ質問が複数の議員から出されたり、何度も繰り返されたりしているようですが、なぜですか？」



同じテーマであっても予算のことや、制度のことなど議員によって視点の違う内容であることを事前に確認しています。また、一度質問したテーマでも、その後の進捗状況や新たな課題について再度質問が必要になる場合もあります。

「写真やイラストが増え、文字数も少なくなった印象で読みやすくなりました。反面、質問の答弁などは文字数減の影響か、説明不足だなと感じることもあります」

「議員の名前と写真が掲載されるようになったのは親しみも湧くし、誰がどの質問をしたのかがわかりやすくて良いですね」

ご指摘ありがとうございます。文字を減らして読みやすい紙面を心がける上で記事の説明不足は向き合わなければならない課題です。不十分なところがありましたら、遠慮なく市議会事務局（12面に連絡先）までご指摘ください。今後の編集の参考とさせていただきますので、改善方法などを具体的にお知らせいただけるとありがたいです。

名前や写真の掲載は、責任を持って質問を行う議員のことを、もっと知っていただくためのものです。開かれた議会を実践していきます。

